

2023年度

第2四半期決算

期間：2023年1月1日～3月31日

2023年5月17日、ドイツ・ミュンヘン

傑出した業績を維持 – 業績見込みを再度上方修正

シーメンスAGのローランド・ブッシュ代表取締役社長兼CEOは、「シーメンスは傑出した業績を維持し、デジタルインダストリーズとスマートインフラストラクチャーにおける目覚ましい利益率の向上と過去最高益、さらに過去最高の受注残高など、いくつかの記録を更新しました。当社の非常に好調な業績は、当社がお客様のより優れた競争力、回復力及び持続可能性を担持する適切な戦略、テクノロジーおよびチームを有していることを示しています」と述べています。

シーメンスAGのラルフ・P・トーマスCFOは、「当社は約束を実現しました。素晴らしい売上高成長率を高利益に、そして最終的に力強いフリーキャッシュフローに転換しました。これは当社の最高の実行力を示しており、ガイダンスを引き上げる自信を与えてくれました」と述べています。

- 当第2四半期の売上高および受注は、為替変動と製品ラインの影響を除いた前年同期比でそれぞれ15%増加。
- 公称売上高は前年同期比14%増の194億ユーロ、受注はモビリティの大型案件の大幅な増加により同13%増の236億ユーロ、出荷受注比率は1.22。
- インダストリアルビジネスの利益は47%増の26億ユーロ、利益率は14.2%に急増。デジタルインダストリーズとスマートインフラストラクチャーはともに大幅な増益となり、四半期としての過去最高益を達成。モビリティはロシアに対する制裁措置に起因する影響額6億ユーロを含んでいた2022年度第2四半期の損失から利益に転じた。
- その結果、当期純利益は、シーメンスが保有するシーメンス・エナジーAG株式の減損の戻入れにより16億ユーロの非課税利益も寄与し、36億ユーロとなった。基本的な1株当たり利益（EPS）は4.39ユーロ、取得原価配分に関する会計処理前のEPS（PPA前のEPS）は4.57ユーロ（それぞれ減損の戻入れに関連する1株当たり2.01ユーロ含む）となった。
- 継続事業と非継続事業からのフリーキャッシュフローは当四半期も卓越しており、23億ユーロに達した。

SIEMENS

シーメンス

(単位：100万ユーロ)	第2四半期		増減 (%)	
	2023年度	2022年度	実績	比較
受注	23,638	20,978	13%	15%
売上	19,416	17,040	14%	15%
利益 (Adjusted EBITA) インダストリービジネス	2,614	1,777	47%	
内：退職手当	(88)	(51)		
利益率 (Adjusted EBITA) インダストリービジネス	14.2%	11.0%		
退職手当を除く	14.6%	11.3%		
継続事業からの利益	3,554	1,209	194%	
内：退職手当	(105)	(62)		
非継続事業からの利益 (税控除後)	(3)	4	該当なし	
純利益	3,551	1,213	193%	
基本1株あたり利益 (単位：ユーロ)	4.39	1.29	>200%	
PPA前のEPS (単位：ユーロ)	4.57	1.50	>200%	
フリーキャッシュフロー (継続事業と非継続事業)	2,350	1,324	77%	
キャッシュ・コンバージョン・ レート	0.66	1.09	(39)%	
ROCE (継続事業と非継続事業)	30.5%	11.1%		

- インドにおける機関車および関連メンテナンスの29億ユーロの受注を含むモビリティの四半期としての過去最高受注高によりスマートインフラストラクチャーが成長した一方、デジタルインダストリーズとSiemens Healthineersは前年同期の高い受注高水準から2桁の減少を記録。
- デジタルインダストリーズ、スマートインフラストラクチャーおよびモビリティの大幅な増収により傑出した売上高成長率を達成。
- 為替変動により、受注高成長率は1ポイント、売上高成長率にわずかな影響。製品ラインは、受注成長率と売上高成長率にそれぞれ1ポイントの影響。
- インダストリアルビジネスの増益には、いずれも四半期としての過去最高益を達成したスマートインフラストラクチャーとデジタルインダストリーズの大幅増益が寄与。モビリティはロシアに対する制裁措置に起因する影響額6億ユーロを含む2022年度第2四半期の損失から大幅に改善。Siemens Healthineersは診断ビジネスの収益低下と先端治療薬ビジネスへの再集中活動の負担により大幅減益。
- インダストリアルビジネス以外の利益として、シーメンス・エナジーAG株式の減損の一部戻入れによる16億ユーロの利益が寄与。
- フリーキャッシュフローの変動は、主にインダストリアルビジネスによるもので、2022年度第2四半期の19億ユーロに対し、27億ユーロの力強いフリーキャッシュフローを生み出した。この大幅な増加は、スマートインフラストラクチャーを中心とした幅広い改善によるもの。キャッシュ・コンバージョン・レートの低下は、主に前述のシーメンス・エナジーAG株式に関する非資金収益を含む当期純利益の増加によるもの。
- 2023年3月31日現在の年金引当金および類似債務は18億ユーロで、2022年12月31日時点と同じ低水準。
- ROCEは主に当期純利益の増加により大幅に増加。